

平成28年度シラバス(園芸科学科)

教科名	農業	科目名	農業と環境	履修学年	1学年	単位数	4単位
教科書	実教出版 農業と環境			副教材			
科目目標	農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探求的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。						
学習目標	①イネや野菜の栽培を通して、農業に対する興味・関心を高め、生命の尊さを理解する。また、栽培・飼育のための基本的な知識と技術を習得する。 ②栽培を通して、地域の農業と自然環境との関わりについて知り、どのような関係をつくる必要が、考える力を養う。 ③「一人一畑一研究」を通して、自分で課題を解決する「プロジェクト学習」への取り組み方を身につける。また、次の学習に向けた目標を立てる。 ④仲間と協力して、栽培・飼育・販売、そしてプロジェクト発表に取り組み、お互いに評価し合って達成感を得る。						
学習の進め方や授業の受け方についての注意	①命を預かるという、大切な役割があります。遅刻・欠席をしないこと。 ②実習の多い授業です。安全面・衛生面そして心がまえのため、正しい服装で参加すること。また、さまざまな道具を使います。扱い方のルールを守ること。 ③生き物は毎日変化するため、記録がとても大切です。ノートの記入やスケッチ、生育調査など、毎回ていねいに記録をとろう。提出の期限を必ず守ろう。 ④「自然環境の中で生かされていること」や、「命のありがたさ」の本当の意味を理解できるよう、心のアンテナを広く張っておこう。また、仲間と協力して仕事を成しとげる喜びを感じよう。						

評価の観点			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業と農業生産物の社会的な役割や、自然環境との関わり、農業学習に興味・関心を持ち、栽培に関するプロジェクト学習に主体的に取り組むなど、課題探求に意欲的に挑戦する姿勢が見られる。また、課題を科学的にとらえて、合理的に解決しようとする態度を身につけている。	動植物の生育や、自然環境に関する記録から、その特性を分析するなど、課題を多面的に考察している。また農業に関する基礎的な知識・技術を活用して、課題を適切に判断するとともに、その課題を科学的にとらえて、合理的に解決する実践的な能力を身につけている。	農業生物の育成や生産物の利用、自然環境との関わりなど、栽培に関する基礎的な技術を身につけ、プロジェクト学習への適切な取り組みができています。また動植物の観察方法や、調査した内容が的確である。	農業生産物の育成や生産物の利用、また周辺環境との関係性など、栽培や飼育、地域環境に関する基礎的な知識を身につけている。また、農業の特性について、生物と生育環境との関係性や、生育の過程について、正しく理解している。

評価方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・学習活動への参加の仕方や態度 ・生育調査の記録や管理状況 ・ノートへの記入 ・授業への出席状況 ・授業での発言状況	・授業での発言の内容 ・授業中に取り組む課題の実施状況 ・課題の提出内容 ・授業での発言や発表の仕方	・観察方法や調査内容 ・発表内容 ・実習への取り組み方	・年間5回の定期調査結果 ・ノートの記録内容 ・授業中の発問に対する返答 ・発表内容 ・その他課題の提出

各学期および年間の学習成績算出について
上の4つの観点についての評価方法にもとづき、年間5回実施する定期調査の結果を5割、出席状況や授業への参加の態度、およびレポートや課題の提出状況などを平常点5割として算出する。

学期	学期目標	考查範囲	学 習 内 容	評価規準(到達目標B段階)と到達度チェック(自己評価)							
				関心・意欲・態度		思考・判断・表現		技能		知識・理解	
一学期 (四月～六月)	農業に興味・関心を持ちプロジェクト学習の方法を学ぶ	中間 考 査	オリエンテーション(シラバスの解説) 座学 第1章 農業と環境を学ぶ 座学 第6章 学校農業クラブ活動 ・学校農業クラブ活動 ・プロジェクト学習のまとめと発展 座学 第3章 栽培と飼育の基礎 ・トウモロコシ	☐ 農業と人間生活・自然環境との関わりに、興味・関心を持つようになった。	☐ 農業の重要性について考えることができた。	☐ 農業の役割と重要性について、また農業クラブとプロジェクト学習について説明できるようになった。	☐ 農業の役割と、人間生活・自然環境との関わり、農業クラブやプロジェクト学習について、理解することができた。				
		期末 考 査	実習 耕起・畝立て・播種・育苗・定植・追肥 整枝・人工授粉・除房・収穫・試食 など 第5章 環境調査と環境保全 畑の環境調査(農業生物と雑草・昆虫) 座学 第2章 私たちの暮らしと農業・農村 ・作物の生育と栽培環境 ・土・肥料の役割と土壌管理 ・有害生物の総合的な管理 実習 第3章 栽培と飼育の基礎 ・イネ(播種・育苗・施肥・田植え・除草など) ・水田の環境調査(水辺の生物と農業の関わり)	☐ 畑や水田の環境や栽培について、意欲的に取り組むことができた。	☐ 畑や水田での栽培実習の方法について、考えることができた。	☐ 畑や水田での、基本的な栽培に取り組むことができた。	☐ 野菜やイネの正確な生育特性と栽培方法について、理解することができた。				
二学期 (七月～十一月)	自分の畑を管理しプロジェクト学習を進める	中間 考 査	第4章 栽培と飼育のプロジェクト 座学 ・秋冬野菜の栽培(タネ・苗・ハウス・キャベツ・ダイコン) ・栽培管理と生育調査の方法 実習 ・耕起・畝立て・播種・育苗・定植・追肥など ・「一人一畑一研究」の栽培環境設定	☐ 秋冬野菜について興味・関心を持つようになった。	☐ 秋冬野菜の栽培のポイントについて考えることができた。	☐ 秋冬野菜の特性と管理について、説明できるようになった。	☐ 育てる野菜の特性と適切な管理の仕方について、理解することができた。				
		期末 考 査	第4章 栽培と飼育のプロジェクト 第5章 環境調査と環境保全 座学 ・秋冬野菜の栽培(タネ・苗・ハウス・キャベツ・ダイコン) ・生産や流通の動向 実習 ・収穫および販売に向けての調整 ・販売実習と消費者の方の意識調査 ・「一人一畑一研究」の栽培管理と生育調査 ・プロジェクト学習中間報告会の準備	☐ 自分の畑の管理と生育調査に、意欲的に取り組むことができた。	☐ 栽培・飼育実習での正しい判断基準について、考えることができた。	☐ 全体で栽培する畑と、個人の畑について、管理と生育調査を、実行することができた。	☐ 秋冬野菜の栽培と、自分の畑の管理・生育調査の方法がわかった。				
三学期 (十二月～三月)	プロジェクト学習のまとめとして発表会を成功させる	学 年 末 考 査	第4章 栽培と飼育のプロジェクト 座学 ・キク、花壇用草花 第6章 学習のまとめと学校農業クラブ活動 座学 ・これまでの学習活動のまとめ 実習 ・発表用プレゼンテーションの作成 ・プロジェクト学習の成果発表会 ・春夏野菜の播種・育苗(スイカ・ナス・ピーマン)	☐ 暮らしと関わりのある動物や植物について、興味を持つようになった。	☐ 動植物の特徴・活用の、正しい判断基準について、考えることができた。	☐ 草花の活用について、正しく表現することができた。	☐ 暮らしと関わりのある動植物の特徴と活用について、理解することができた。				
			☐ プロジェクト学習のまとめについて、関心を持つようになった。	☐ 学習成果のまとめ方について、考えることができた。	☐ プロジェクト学習のまとめ方の手順について、説明することができた。	☐ 集めたデータの分析のしかたや、これらを分かりやすくまとめる方法について、理解することができた。					
				☐ プロジェクト学習に対して、意欲的に取り組むことができた。	☐ データを多面的にとらえ、研究の考察について、考えることができた。	☐ PDCAサイクルをもとにした学習と研究のまとめができた。	☐ 取り組んできた学習活動をまとめる時のポイントについて、理解することができた。				
				☐ 研究の内容が聴衆に伝わるよう、意欲を持って発表に取り組んだ。	☐ 発表の評価について考えることができた(仲間の評価・自己評価ができた)。	☐ 決められた時間内で、聴衆に伝わる発表ができた。	☐ クラスメートの発表を見て、互いの達成点・課題点を分析する方法がわかった。				